

日本共産党 区議会議員



石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2011年8月28日
ちひろニュースNo.20

被災地救援復興ボランティア

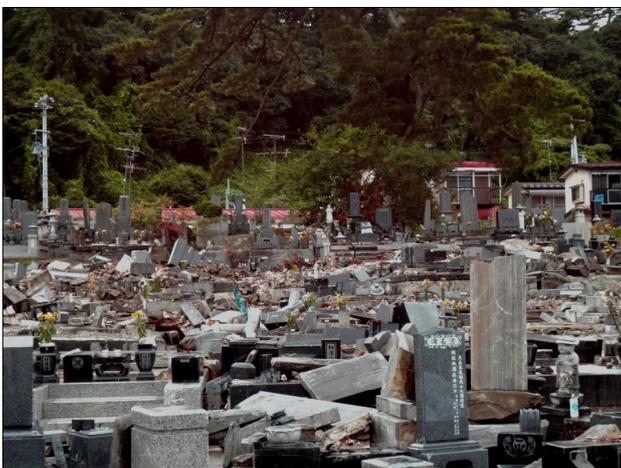
宮城県石巻市に 行ってきました

マイクロバスで8時間。
若者15人でボランティア

8月18日の夜から21日まで、宮城県石巻市にボランティアに行きました。品川・大田の若者15人で、元気に救援復興ボランティアをしてきた報告をしたいと思います。



石巻市日本共産党・震災救援対策本部前



初日、作業した西光寺のお墓。
墓石は、ほぼ倒壊し、あらゆるものが流れ込んでいた。

18日の夜、大井町から、一路石巻市へとマイクロバスで出発しました。
翌朝6時に石巻市の、日本共産党・震災救援対策本部に到着しました。
8時30分から打ち合わせが行われ、私たちとは別の青年たちや、全国各地からボランティアが集まり、その日は私たちも入れて100名ものボランティアが集まりました。
おもな作業は3つです。
①がれきの除去や、側溝の泥出し
②大量に集まった物資の仕分け
③仕分けられた物資を地域に直接届ける、お届け隊
到着した初日、私たちは、沿岸部にあるお寺のがれきの除去をしました。



倒れたお墓の間を細かいがれきが埋め尽くしている。それを除去している様子。

目の前にしたお墓は、すべて倒れ、流され、あらゆるものが流れ込み、ひとことという“ぐちゃぐちゃ”な状況でした。名前の刻まれた墓石が、無惨にも崩れ、散乱している状況で、地震と大津波の破壊力に改めて恐怖を感じました。

男性は大きながれき除去、女性は小さながれき除去を任せられました。近くに製紙工場があったため、紙もぐちゃぐちゃに、粉々になって、お墓一面に散乱していました。ガラス片や金属片などもたくさんまぎれていて、手を切らないよう、革手袋をして慎重に片づけを進めました。



周りは全て流され、建物があつたところに草がおいしげっている。

災害時の情報伝達

写真や食器、レコードや手紙と、思い出の品であろう物も、たくさん出てきていました。

また、作業中に震度5弱の地震が私たちに襲いました。「津波は…」と、初めて津波に襲われるかも…という怖さも体験しました。「警報鳴らないし、大丈夫じゃない？」と話していましたが、それが避難を遅らせ、多くの命が奪われる原因にもなると感じました。災害時の情報が遅いか早いか、届いているかで、大きく状況が変わります。

私たちが災害にあつたとき、警報や状況

を知らせる手立てがきちんとあるのか。今回の大震災で品川に住むみなさんは、なにを感じたでしょうか。改めて実態を聞き、防災対策にいかすよう進めていきます。

引き続き、ボランティア報告を掲載していきます。

無料法律相談

とき：9月13日(火)

時間：18:00～

場所：石田ちひろ
事務所

03-5462-2133